



四月定例会（七日 定例会 偕行社） 兼題 「雛」「木」

五十音順 特は特選 石田きよし選

春風に尻を吹かれて上野山 大崎石州

木蓮の白に勝れる白はなし 太田黒幸風

終活や雛に別れを言ひだせず 大森康政

病む妻の花散つたかと尋ねけり 竹内雲泉

特 根分けする日当たりながら二人かな 田中資凡

特 不耕起てふ探る未来や芋植ゑり 長池豆陽

出来ぬこと又一つ増ゆ落椿 深見十方

特 春風や墓標に深く虚子の文字 藤田紀潮

田舎道囁き交はす黄水仙 宮下ひかる

クレヨン画の雛人形にマスクかな 森田光彦

木の芽吹く病後の我に旅ごころ 山縣秀雄

聖火来る隣りの亀の鳴くを待つ 吉岡誠山



一本に長幼序あり紫木蓮 石田きよし